

神奈川県南支部のホームページは（[全日本建設交運一般労働組合 \(ctg-kennan.net\)](http://ctg-kennan.net)）をクリックか右のQRコードからアクセスできます。分会・班の仲間は多くの労働者に広げてください。



2024年5月29日

かながわけんなんしふ

建交労神奈川県南支部

2024年夏季闘争 No.3

2022年度推進ニュース⑳通算339号

発行責任者 小島 茂

5/26:JR川崎駅前宣伝・署名行動を実施 今年度初・執行委員6名全員が揃って行動

神奈川県南支部は5月26日にJR川崎駅東口で定例の宣伝・署名行動を実施しました。この日の行動は今年度（昨年10月29日大会以降）の定例宣伝行動で初めて執行委員6名全員（小島委員長、清野副委員長、金崎書記長、佐藤執行委員、須田執行委員、赤羽特別執行委員）が揃っての取り組みとなりました。

やはり、数の力は大きく駅前を往来する人の多さとも相まって用意したティッシュ付きビラはたちまち配布してしまいました。次回宣伝行動は6月23日（日）



宣伝行動を終えた神奈川県南支部執行委員の仲間達

です。午後2時に支部事務所に集合して準備を整えいつものJR川崎駅東口（地下街アゼリア入口付近）で実施します。各分会・班からの積極的な参加を呼びかけます。

福祉保育労緑陽苑分会裁判5/29勝利判決 今後は早期全面解決を迫るたたかいがカギ！

5月29日は、福祉保育労組緑陽苑分会への不当労働行為を繰り返す緑陽苑理事長が、労働委員会命令を不服として起こした裁判の判決が横浜地裁で言い渡されました。

神奈川県内は前日から29日未明にかけて台風1号の影響で大荒れの天候となりました



判決言い渡し後の横浜地裁前での該組織と支援者

が夜明けには晴天が広がり横浜地裁には20名の仲間が支援に駆けつけました。神奈川県南支部からは金崎書記長と合同分会の益山、河野、根井の4名が参加しました（敬称略）。

裁判の結果は当然のごとく苑側の主張は退けられ組合側勝利の判決が下されました。

今後は、早期の全面解決を迫るたたかいをどうすすめるかがカギになります。

（本記事の執筆と写真の提供は金崎書記長）

2024年1月11日

建交労県本部委員長 殿
建交労支部委員長 殿

全日本建設交運一般労働組合(建交労)
中央執行委員長 角田 博代



「令和6年能登半島地震」被災者支援カンパのよびかけ

全国で奮闘されている建交労のみなさんに呼びかけます。

本年1月1日の夕方4時過ぎに発生した令和6年能登半島地震(能登半島地震)は、M7.6・最大震度7を記録しました。地震発生直後には能登方面の日本海沿岸部で津波が襲いかかり、家屋などが水没し、人的被害を与えました。

石川県では死者202人、安否不明者323人、県内避難所約400ヶ所には約26,000人が身を寄せています。(1月9日現在)その内、珠洲市内、能登町、七尾市に居住する建交労石川県本部に結集する北陸ダンプ支部(1名)、北信越労職支部石川分会(41人)が家屋の全壊、半壊、一部損壊などの被害を受けています。石川分会の組合員1人が亡くなっています。石川県本部の石田直道委員長は分会員たちの状況把握の為に5日から現地入りをしています。

建交労は、被災された仲間と住民の皆さんに心からお見舞い申し上げるとともに今後できる限りの支援をしていくことにします。

1月5日石川県労連内に「支援対策本部」を設置し、全労連は1月10日に「令和6年能登半島地震・対策支援募金」のとりくみを開始しました。今後現地の状況を掌握したうえで、支援物資の搬入やボランティア派遣など具体的な支援活動を全国的にすすめる方針を確認しました。

建交労は、全労連の確認・提起を受けて「能登半島地震」被災者支援カンパのとりくみを10日に開催した常任執行委員会で確認し、全国の仲間に協力を呼びかけます。各組織の積極的な対応をお願いします。

集約した救援カンパは、以下の金融機関の口座に振り込んでください。

お手数ですが、振り込みした組織は必ず、メールかFAXで別紙用紙にて随時お知らせ下さい。

以上

【振り込み先】

中央労働金庫新宿支店(普通) 3731711

(名義) 建交労中央本部

* 【郵便振替】

(口座番号) 00180-3-25195

(名義) 建交労

振込用紙に「震災カンパ」と記入してください

上記へ支援カンパを振り込んだ分会・班及び組合員は神奈川県南支部にご報告ください。